

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	03	目	02
事務事業名	中学生海外派遣事業								
担当部署	教育委員会学校教育課	2202000	電話	0187-63-1111			内線	341	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	01:学校教育の充実
	施策	01:学校教育の充実
	施策の内容	03:児童生徒の課外活動や校外活動の充実
根拠法令等	大仙市立中学校生徒海外派遣事業実施要綱	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	大仙市立中学校生徒を海外に派遣し、日本と異なる文化に触れる経験及び海外渡航に伴うすべての経験を通して、国際感覚を養うとともに国際理解を深めさせるためである。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市に在住し、大仙市立中学校に在籍する中学校2年生を主体とする。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	ホームステイ等を体験し、生きた英語に触れながら、生活様式、風俗、習慣等を学ぶ。併せて、オーストラリアの自然、文化、歴史、産業等を学ぶ。(毎年1月上旬「冬休み期間中」7泊8日 オーストラリア)
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	国際感覚を養うとともに国際理解を深めさせ、将来地域の振興に寄与する人材を育成することができる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 中学校生徒海外派遣実施校数		8	6	7
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 中学校生徒海外派遣実施生徒数		19	19	20
	②				
	③				
投入コスト	決算額			2,639千円	5,865千円
		一般財源		2,639千円	3,165千円
	人件費		1,427千円	1,427千円	1,409千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.2人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト (決算額+人件費)		1,427千円	4,066千円	7,274千円

事業を取り巻く環境	近年、国際化が進む中で国際理解や国際交流のための海外研修が盛んになって来ている。大仙市においても、将来を担う中学生(2年生)を対象に海外派遣事業を実施している。1月上旬の冬季休業中の10日間程度ホームステイによるオーストラリアへの海外研修である。概ね旅費の半額を自己負担している。(上限15万円)
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	年々応募者が多く中学生の国際感覚を養いたい意向が強くなって来ている。地域振興に寄与する人材育成のためにも必要性が大きい。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	派遣にあたっては、オーストリアの自然や文化、自己の研修テーマに関する事前学習会を開催している。また、研修報告書を冊子にまとめ、参加者が一堂に会して研修報告会を開催するなど、級友、保護者、地域の方々をはじめ広く市民に研修成果を還元している。今後、派遣先の変更や市内全域の中学校から生徒を派遣するなどの見直しの余地が考えられる。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	民間委託できる内容ではない。臨時職員が従事する内容でもない。コスト面では、現状維持。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	国際化が進む中で事業としては必要であるが、事業費については、現状の額を維持して行きたい。なぜなら、自己負担が伴うからである。多くの中学生に海外研修に参加していただくため、特定の学校に偏らず市内全域の学校から参加していただく工夫が必要である。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	